

ねえ 壮真
兄ちゃんに
教えてよ

僕とオトウト

第40回

「地方の時代」映像祭
市民・学生・自治体 部門
優秀賞

高木佑透 監督作品

プロデューサー：池谷薫（「蟻の兵隊」「ルンタ」） 撮影：高木佑透 高木美千子 編集：高木佑透

音響構成：渡辺丈彦 音楽：ichi_yo デザイン：今堀智枝子 HP制作：安達雄太郎

2020年 | 日本 | カラー | DCP | 48分 | 16:9

制作：元町プロダクション 配給・宣伝：「僕とオトウト」上映委員会



僕とオトウト

<https://boku-to-otouto.com>

僕は僕で 兄ちゃんは兄ちゃんです そうやって生きていってええんやで

若き映像作家の手により、みずみずしくもヒリヒリとした気持ちにさせられる兄弟の物語が誕生した。京都大学大学院で共生人間学を学ぶ高木佑透が重度の知的障害をもつ弟・壮真にカメラを向けた「僕とオトウト」。幼いときから弟を守りつづけてきた兄は、その弟が大きくなり、時おり親の手に負えなくなったいま、将来、面倒を見るのは自分しかないのではないかと思ひ悩む。ならばもっと弟のことを知らなければならぬ。こうしてカメラを手に弟との対話を試みる兄だが、意思の疎通を図るのはなかなか難しい。そんなある日、弟のふとしたいたづらが事件を引き起こす。はたして障害をもつ弟との間にコミュニケーションは成立するのか。撮る側と撮られる側、双方の成長が刻印された、映画の奇跡がここにある。



障害のある人の兄弟姉妹を平仮名で「きょうだい」と呼ぶ。きょうだいの中には「親に甘えられない」「世話が大変」「障害への偏見が怖くて誰にも打ち明けられない」などの悩みを持つ者も多い。全国各地に存在する「きょうだいの会」は、そんなきょうだいが気軽に集まり、自分たちの悩みや思いを語り合える場所である。

きょうだいの会について

カメラを持った。見えてきたのは自分だった。

本作をプロデュースしたのは大ヒットドキュメンタリー「蟻の兵隊」の監督・池谷薫。いま彼を中心に神戸・元町映画館を拠点に活動をつづける「元町プロダクション」が、2年連続で「地方の時代」映像祭に受賞するなど大きな注目を集めている。モトプロのモットーは、自分にしか撮れない映画を撮ること。10代から80代までの老若男女約30名が神戸から新しい映像文化を発信しようと作品づくりに励んでいる。

編集・監督：高木佑透 | プロデューサー：池谷薫
撮影：高木佑透 高木美千子 | 音響構成：渡辺文彦 | 音楽：ichi_yo
デザイン：今堀智枝子 | HP制作：安達雄太郎 | 制作：元町プロダクション



日時：2023年9月9日 (土)

13:00～上映

14:00～監督トーク

15:00～交流会

場所：東園田町総合会館

尼崎市東園田町4丁目94-2

阪急園田駅から徒歩2分(コマダの上)

あまらぶチャレンジ事業
あなたとわたしが「いきる」まち

主催：NPO法人サニーサイド
06-6493-0355 (松村)

参加協力金 1000円
高校生以下無料 当事者・家族・ヘルパー500円

【1】QRコードから→
【2】FAX 06-6493-0455

①お名前②連絡先
③一般 or 当事者・保護者・きょうだい

